

会発足の経緯

「水軒の浜に松を植える会」は和歌山市西浜にある昔の水軒の浜に沿った緑地をきれいにし、今はほとんどなくなっている松を植えることによって、美しい風景を取り戻そうと、住民の有志で結成しました。

この地を地域の人達は今でも「水軒の浜」と言っており、住民の頭の中には美しい海と共に松林と砂山が思い出される場所でもあります。

最近、ここに 17 世紀前半から 18 世紀前半江戸時代に構築されたと考えられる石積みの水軒堤防が道路工事に伴い発掘されました。地域のお年よりはこの堤防の存在は知っていましたが、その後、砂に埋もれていました。

和歌山県教育庁では堤防の発掘調査と道路拡幅に伴う一部の移築も進めています。また、石積み堤防は非常にすばらしいもので「国指定の史跡」になるであろうとの話も聞いております。

現状は、昔の松林の面影がうすれ、不法投棄のごみも多く、昔の美しい海岸を知る私たちは何とかしなければと考えておりました。史跡水軒堤防の再確認を契機に住民が自ら、美しい「水軒の浜」を後世に伝えていこうと、立ち上がりました。皆様方のご協力をお願いします。